

献血に行きませんか？

～元氣と幸せをおすそわけ～



皆さんは、献血に行ったことがありますか。世の中には、病气やけがで血液を必要としている人がたくさんいます。

血液は人工的につくることができないため、皆さんの献血に頼るしかありません。毎日、多くの尊い命が輸血により救われています。献血は、ほんの少しの勇気と思いやりがあればできる身近なボランティアです。

あなたの元氣と幸せを少しだけ分けてください。

献血とは？

献血は、誰かの命を救うことができる身近なボランティア！

日本には、病気の治療や手術などで「輸血」を必要とする患者さんがたくさんいます。その人たちのために、健康な人が無償で自分の血液を提供すること、それが「献血」です。

現在、日本では、毎日約3千人、年間約120万人もの人の命が、輸血によって救われています。その輸血用血液を支えているのが、「献血」なのです。

あなたの献血が、今日も誰かの命を救っている。そう言うても言い過ぎではありません。

なぜ献血が必要なの？

血液は、人工的につくれないだから人から人へ分け合うもの！

血液は、人の体の中です。つukれない、「生きている細胞」です。

医学や化学が進歩した現在でも、血液を人工的につくることができず、長い間保存することもできません。そのため、いつ必要になっても大丈夫なように血液を確保しておくためには、常に献血によって集めておく必要があるのです。

中でも寒い時期は、献血者が減る傾向にあり、一人でも多くの人の協力が欠かせません。